

学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

学生の修学に係る支援 教育課程（カリキュラム）

1. 教養教育の取り組み

教養教育として基礎科目に「現代教養基礎」、「キャリアプラス」、「基礎数学」、「英語演習」、「英会話」、「OA演習Ⅰ・Ⅱ」、「スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ」などの科目を設定している。

「現代教養基礎」は、本学の教育理念に基づく人材育成の基礎となる科目で、初年次教育として学外実習及び社会生活において必須となる知識の習得を目的としている。具体的には、第1学年の全学生を学科・専攻を越えた9のグループに再編成し、4分野の内容をオムニバス方式で開講することで、専門科目への学びの足掛かりとなることを目的としている。学生はグループ単位で4分野の教員が行う講座とアクティブラーニングを組み合わせ実践講座を10週にわたり順に受講する。また、オムニバス方式の授業に先立ち、学生の「学生生活の心構え」を明確なものにするために外部講師の講演を行うことで卒業後の進路設計を考えさせる取組も行っている。

「キャリアプラス」は、平成24年度の後期から開講している新たな取組であり、足立学園総合研究所が地域の方々に向けて開講する科目の一部を、学生が15回受講することにより卒業学年次に単位を与えることとした。これからの女性にとって、自らの職業能力（エンプロイアビリティ）をいかに高めてキャリアアップするかが大きな課題となっているが、各学生が目指す職業人となることに「プラス」される講座を選択し、修得することにより、各自のキャリアを組み立てることをねらいとしている。

「基礎数学」、「英語演習」、「英会話」は、卒業後、社会で活躍する女性として最低限身につけておいてほしい基礎的な内容を学ぶものであり、「OA演習Ⅰ・Ⅱ」は情報化社会において必要とされる知識や技術の習得を目指すものである。さらに、「スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ」は健康でより良い社会生活を送るための「健康教育」と、「身体づくりの実践」という2つの柱で授業を展開している。

授業以外の取組では、毎週月曜日の文教アワー（BH）を利用した全学で実施する漢字テストや、卒業学年の学生を対象として毎週水曜日の第3限と第5限に実施する就職対策講座などがある。

2. 専門教育の内容

（1）生活文化学科（食物栄養専攻・生活文化専攻）

食物栄養専攻では、栄養士養成に加えて、ADI（エアロビクスダンスエクササイズインストラクター）、栄養教諭、医事実務士の資格取得が可能である。

生活文化専攻の情報ビジネスコースでは上級ビジネス実務士、上級秘書士、上級情報処理士等の資格取得が可能となっている。

生活文化専攻の情報医療コースでは秘書士、医療秘書実務士等の資格取得が可能となっている。

(2) 幼児教育学科第1部・第3部

幼稚園教諭及び保育士養成の科目が中心となる教育課程である。保育士、幼稚園教諭の資格を得るに足りる知識と能力を身に付け、広い視野と人間性を備え、保護者を含めコミュニケーションがとれる保育者の育成を目指したカリキュラムを編成している。

選択科目としてレクリエーションの資格の取得も可能にしている。なお、総合表現（オペレッタ）は、授業時間の関係から第1部にのみ設定されている。

学生の修学に係る支援 学習支援（ガイダンス等）

入学式の翌日、新入生オリエンテーションを実施している。学科、専攻、コース別のホームルーム（文教アワー）を月曜第2限に行い、アドバイザーから学校生活全般についての説明や指導を行っている。

履修案内をもとに各学科主任及びアドバイザーによる説明（選択方法、資格取得関連、各学科の教育目標・目的、専門科目の内容など）を行っている。

学生の心身の健康等に係る支援

アドバイザーが学生の相談窓口となっているが、その中で特にアドバイザーの判断で学生相談室への連絡が必要と判断するケース（健康の問題に関する事柄、メンタルヘルス的な事柄）についてはアドバイザーが学生相談係へ連絡して専門的に対応している、

平成18年度からは、学生に対する事務手続きを総合的に支援するための総合サポートセンターの設置、その他に学生の学習、研究活動を支援するために全専任教員によるオフィスアワー（質問・相談時間）を設定することにより、授業分野を中心に質問に応じる体制を整えている。また、学生相談「何でも相談ポスト」を学内2ヶ所に設置して幅広く学生の相談に対応できる体制を整えている。

その他、学生の憩いの場としてラウンジの設置、常時カウンセラーのいる学生相談室を設置し、学生生活における相談など、きめ細かな対応で充実した学校生活ができるようサポートしている。